

生産、出荷指数 とともに低下

1 概要

平成14年7～9月期の埼玉県鉱工業指数（X-11デフォルトによる季節調整済、平成7年平均＝100）は、前期と比べ、生産、出荷が低下し、在庫、在庫率が上昇した。生産、出荷ともに2期ぶりの低下となった。

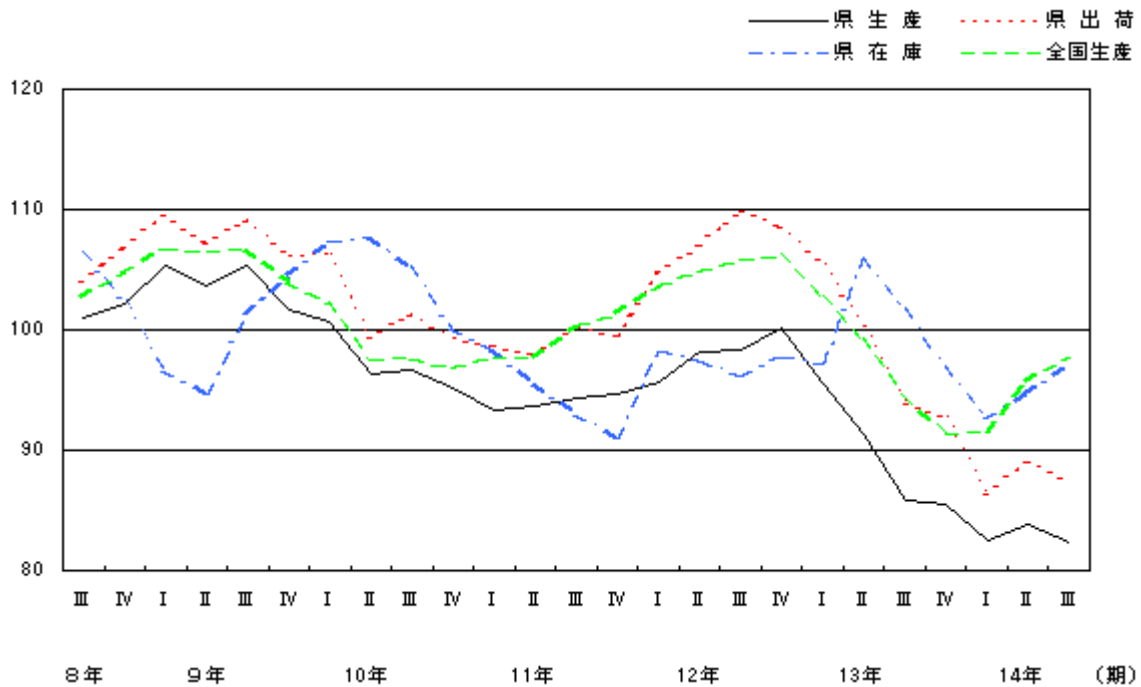
前年同期比では、生産、出荷、在庫ともに低下した。

	埼玉県			全国		
	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生産	82.3	△1.8	△4.0	97.9	2.4	3.6
出荷	87.5	△1.8	△6.7	100.9	1.8	4.1
在庫	97.2	2.7	△4.7	87.7	0.2	△10.1
在庫率	111.6	7.5	△1.5	98.9	△1.2	△12.2

前年同期比は原指数による。全国の在庫指数は期末値による。

一 埼玉県鉱工業総合指数の推移

(平成7年平均＝100 季調済)



2 業種別動向

(1) 生産

19業種中9業種が上昇し、10業種が低下した。上昇には輸送機械工業、一般機械工業などが寄与し、低下には化学工業、食料品工業などが寄与した。

(2) 出荷

19業種中9業種が上昇し、10業種が低下した。上昇には輸送機械工業、一般機械工業などが寄与し、低下には電気機械工業、化学工業などが寄与した。

(3) 在庫

19業種中8業種が上昇し、11業種が低下した。上昇には電気機械工業、一般機械工業などが寄与し、低下には輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業などが寄与した。

